

2014年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	生物環境化学科						
科目名	ベーシック						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	後期		
必修・選択の別	選択必修						
担当者	肥川 絹代						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞を適切に使用することができる。 ・比較の表現を適切に使用することができる。 ・仮定法を適切に使用することができる。 ・関係代名詞を適切に使用して文を作ることができる。 						
日程と内容	第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 第2回：助動詞 第3回：不定詞・動名詞 第4回：不定詞・動名詞 第5回：現在完了 第6回：現在完了 第7回：接続詞 第8回：前半復習 第9回：比較 第10回：比較 第11回：受動態 第12回：受動態 第13回：分詞 第14回：関係詞 第15回：関係詞 定期試験						
成績評価基準	定期試験	40%	実技				
	臨時試験	20%	部外評価				
	報告書・レポート	20%	プレゼンテーション				
	課題	20%	計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	概ね達成できた。 <ul style="list-style-type: none"> ・不定詞と動名詞の使い分けの理解 ・現在完了形の意味するところ ・接続詞の定義 ・比較の面白さ等々理解が図られた。 						
反省点	ほとんどの学生が、オックスフォードの英語本を読みやNHKの語学番組を視聴し、英字新聞の記事を読み、レポートを提出してくれた。この一つ一つの積み重ねが、彼らの財産になることと信じている。授業では、一つ一つ丁寧に時間をかけすぎたようである。より多くの学生に、文法力、リスニング力もアップしてもらおうよう、要点を絞った対応をしていきたい。						
来年度の計画	小学生から英語が導入され、英語での授業も中学・高校で行われていく。また、社会に出ても、もはや国境を越えた人・物の移動によって、生活および働き方自体が大きく変わっていく。そういった流れの中で、基本的なことを大切にしながらも、英語を通して得られる知を学生が獲得できるよう、知的刺激を与えていきたい。10年後、15年後を見据えた会話力(洞察力・判断力)を付けてもらいたい。また、上記の反省に立ち、特にリスニングに関しては、できる学生、そうではない学生、それぞれの視点で達成感を得られるように図りたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	前期と違って、経営ビジネスの学生が参加したことで、受講者の増加がアンケートにも関係しているようである。予習・復習を習慣づけるように対応したい。						
履修登録者数	66名	定期試験 受験者数	65名	合格者数	61名	合格率	94%